

報道機関各位

阪急阪神ホールディングス株式会社
株式会社阪急阪神カード
株式会社池田泉州銀行

**BaaS^{※1}機能を活用した阪急阪神ホールディングスグループのネット銀行サービス
「(仮称)Hankyu Hanshin cross BANK(阪急阪神ネットバンク)」を開始します
(2027 年以降予定)**

※1 BaaS とは、Banking as a Service の略称です

阪急阪神ホールディングス株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長 グループ CEO：嶋田泰夫、以下「阪急阪神ホールディングス」）ならびに株式会社阪急阪神カード（本社：大阪市北区、代表取締役社長：村川研策、以下「阪急阪神カード」）は、株式会社池田泉州銀行（本社：大阪市北区、頭取 CEO：阪口広一、以下「池田泉州銀行」）と提携し、関係当局の許認可等を前提として、ネット銀行サービス「(仮称)Hankyu Hanshin cross BANK(阪急阪神ネットバンク)」(以下、「本サービス」)を 2027 年以降に開始します^{※2}。鉄道事業者としてネット銀行サービスを提供するのは、西日本で初となる予定です。

※2 阪急阪神カードが池田泉州銀行を所属銀行とする銀行代理業の許可を受けることで、本サービスの提供が可能となります。

阪急阪神ホールディングスグループ（以下、当社グループ）は、これまでの 100 年以上の歴史の中で、鉄道や不動産、エンタテインメント、旅行など、対面での取引を中心にサービスを展開してまいりました。一方、お客様の生活様式は、オンラインサービスのさらなる拡大とともに、スマートフォンを前提としたものへと変化しております。このような変化に対応するため、当社グループでは、対面のみならず、スマートフォン（ネット）を通じてお客様の利便性を高める施策を打ち出すとともに、ネット上でのお客様との長期的な接点を構築していく必要があると認識しております。

本サービスでは、当社グループが提供しているさまざまなサービスと銀行サービス（預金や借入、決済等）をスマートフォンアプリによりワンストップでご利用いただける環境を整えます。お客様の利便性や快適性の向上に加え、当社グループとお客様との接点を強化することができ、当社が推進する阪急阪神 DX プロジェクト^{※3}の推進にも寄与すると考えています。さらに、ご利用状況に応じて、阪急阪神グループの共通ポイント「S ポイント」や、グループで利用できるさまざまな特典を進呈するなど、よりお得な銀行サービスを提供します。

※3 お客様との接点の多様化を進め、お客様一人ひとりに寄り添いながら、お客様のライフスタイルのデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進する取組。

本サービスを構築するために提携する池田泉州銀行は、主に京阪神エリアに密着した事業を展開しており、阪急阪神沿線と親和性の高い銀行です。沿線にも多くの営業店舗を展開するとともに、ライフステージに対応したさまざまな金融商品を提供しており、地域の未来を共創するパートナーとなります。本サービスに数多くの魅力的な商品を用意することで、お客様の口座利用がさらに活性化し、結果として長期にわたってお客様との接点が構築できると考えています。そのためにも、本サービスでは店舗における対面でのサポートも含めた、よりきめ細かな対応が可能なサービスの提供体制を整えていきます。

今後 3 社は、お客様一人ひとりの暮らしに新たな魅力や利便性をお届けできるよう、本サービスの開始に向けた取組を推し進めてまいります。

本サービスの開始時期や具体的な内容等は、決まり次第改めてお知らせします。

以 上

【本サービスの概念図】

